



【銘柄入れ替えのお知らせ】

Indxx Japan Robotics & AI Index

2638

グローバルX ロボティクス&AI-日本株式 ETF

2026年8月31日

平素は当ETFをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

指数算出会社より、8月の定期リバランスが行われましたのでお知らせいたします。

なお、今回のリバランスは2026年7月31日に指数算出会社より公表された対象指数の構築方法の変更を反映しています（変更の詳細はP.2をご参照ください）。

新規採用・除外銘柄

新規採用銘柄		除外銘柄	
6407	C K D	6902	デンソー
6383	ダイフク	6504	富士電機
6134	F U J I	6702	富士通
6324	ハーモニック・ドライブ・システムズ	6501	日立製作所
6258	平田機工	6479	ミネベアミツミ
6103	オークマ	6503	三菱電機
278A	T e r r a D r o n e	6988	日東電工
6481	T H K	4684	オービック
		6723	ルネサスエレクトロニクス
		6963	ローム



対象指数の構築方法（メソドロジー）の変更

2026年7月31日、指数算出会社である Indxx, LLC は、当指数が対象とする産業の現状をより適切に反映させるため、以下のとおり指数の構築方法を変更しました。

① 対象サブテーマの見直し

変更前（8サブテーマ）	変更後（7サブテーマ）
産業用ロボット・自動化 無人機・ドローン 非産業用ロボット AI IoT ビッグデータ コンピュータ支援設計およびデータ処理 ← 削除 半導体 ← 削除	産業用ロボット・自動化 無人機・ドローン 非産業用ロボット AI IoT ビッグデータ ヒューマノイド技術 ← 新設

② 企業分類・銘柄選定・ウェイト決定方法の見直し

項目	変更前	変更後
企業分類 再定義	【Pure-Play】 ロボティクス関連ビジネスからの収益割合が50%以上である企業 【Quasi-Play】 収益割合が20%以上50%未満である企業もしくは半導体関連企業	【Pure-Play】 ロボティクス関連ビジネスからの収益割合が50%以上である企業 【Diversified Revenue】 収益割合が50%未満だが、複数のサブテーマにまたがり重要な貢献をしていると考えられる企業
銘柄 選定方法	時価総額の高いものから順にPure-Play 銘柄から30銘柄、Quasi-Play 銘柄から10銘柄をそれぞれ選定	浮動株調整後時価総額の高いものから順に、 Pure-Play 銘柄から30銘柄を選定 。Pure-Play 銘柄が20銘柄未満の場合、Diversified Revenue 企業から合計20銘柄に達するまで選定
ウェイト 決定方法	浮動株調整後時価総額加重（1銘柄最大8%） + Pure-Play 銘柄群の合計90%、 Quasi-Play 銘柄群の合計10%	浮動株調整後時価総額加重（1銘柄最大8%） （銘柄群ごとのウェイト配分は設定なし）

対象株価指数の銘柄選定プロセス（概要） ※メソドロジー変更反映

国内上場株式

スクリーニング

時価総額：500億円以上
6か月間の1日平均売買代金：2億円以上

組入候補銘柄

ロボット・AI関連サブテーマ

- 産業用ロボット・自動化
- 無人機・ドローン ■非産業用ロボット
- AI ■IoT ■ビッグデータ
- ヒューマノイド技術

投資候補銘柄

銘柄の選定

ポートフォリオ
最大30銘柄

サブテーマに関連する売上高比率等で2つのグループに分類

【正構成銘柄】

サブテーマに関連する売上高比率が
50%以上の企業

【準構成銘柄】

- ・サブテーマに関連する売上高比率が50%未満であるものの、サブテーマへの重要な貢献企業と認められる企業

浮動株調整後時価総額をもとに銘柄選定

- ・**正構成銘柄**：浮動株調整後時価総額上位から最大30銘柄を選定
- ・**準構成銘柄**：正構成銘柄が20銘柄未満の場合、浮動株調整後時価総額上位から合計20銘柄になるまで選定

浮動株調整後時価総額加重でウェイト付け

- ・1銘柄当たりの上限8%

銘柄入れ替えおよび構成比率調整：年2回（2月、8月）

※図はポイントを抜粋したものです。詳細は[こちら](#)をご参照ください（出所）IndxxよりGlobal X Japan作成



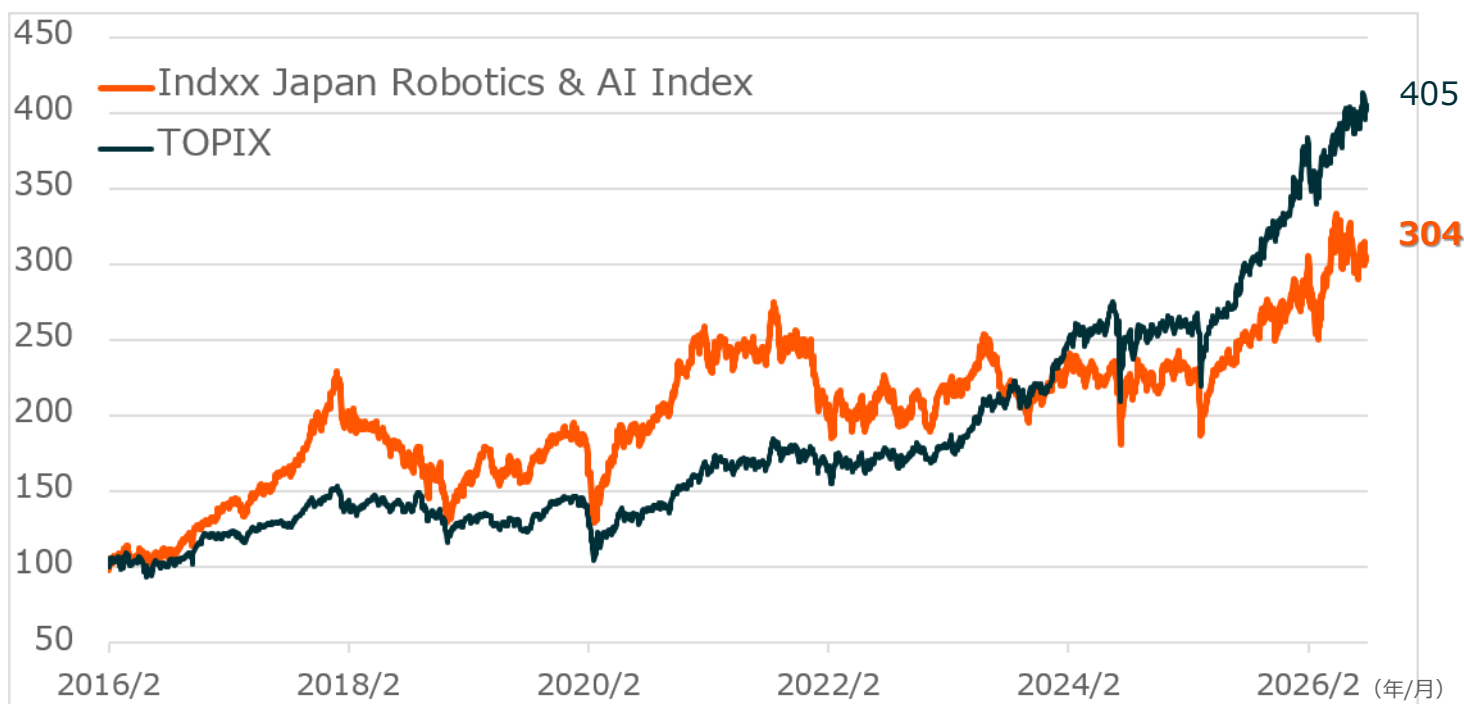
入れ替え後の指数構成 全22銘柄

コード	銘柄名	比率
6383	ダイフク New	8.0%
6954	ファナック	8.0%
6134	F U J I New	8.0%
6861	キーエンス	8.0%
6645	オムロン	8.0%
6273	S M C	8.0%
6481	T H K New	8.0%
6506	安川電機	8.0%
4751	サイバーエージェント	7.5%
6268	ナブテスコ	6.7%
6407	C K D New	4.5%

コード	銘柄名	比率
6324	ハーモニック・ドライブ・システムズ New	4.4%
6103	オークマ New	3.8%
6914	オプテックスグループ	1.5%
4180	Appier Group	1.5%
6258	平田機工 New	1.2%
4483	J M D C	1.2%
6929	日本セラミック	1.0%
278A	Terra Drone New	0.8%
4259	エクサウィザーズ	0.7%
3993	PKSHA Technology	0.7%
7779	C Y B E R D Y N E	0.3%

※個別銘柄の推奨、今後の組入を示唆・保証するものではありません。四捨五入の関係で100にならないことがあります。
 (注) 構成比率はデータ基準日の2026年8月24日時点

指数パフォーマンス (配当込み)



※過去のパフォーマンスを示しており、将来の成果を保証するものではありません。(注) 対象指数の算出開始日は2021年5月21日。算出開始日前の指数に関する情報はすべて、算出開始日において有効なメソッドロジーに従い、仮説に基づいて指数算出会社がバックテストしたデータ。期間は2016年2月29日から2026年8月26日。起点を100として指数化(配当込み、日次)(出所) Bloomberg より Global X Japan作成



AIは次のステップへ 注目が高まるフィジカルAI

AIは段階的に進化してきました。最初の段階である「**認知AI**」は、物体検知や音声処理など、人間の知覚を補う技術です。たとえばAIによる画像処理では、人と背景を識別して不要な要素を自動的に消すことが可能になりました（Google Pixelなど）。音声処理では、リアルタイム翻訳が代表例です。

次の段階が「**生成AI**」で、文章・画像・音声など新しいコンテンツの自動生成が可能となりました。

そして「**AIエージェント**」は、特定のタスクに特化し、自ら計画を立てて行動する自律型AIです。与えられたゴール達成のために意思決定を繰り返します。

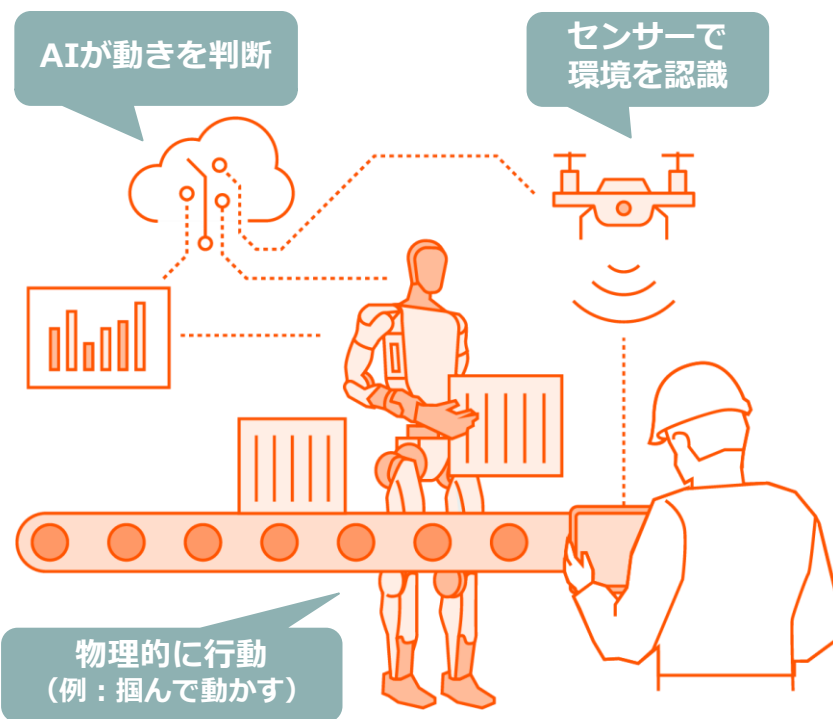
最終段階が「**フィジカルAI**」です。デジタルだけで完結せず、物理世界で“動き・判断し・行動する”ことを目的とします。ここで最も重要になるのがロボットです。

例えば工場では、組み立てロボットが自律的に動き、リアルタイムに生産する製品を切り替えることで、1つのラインで複数の製品を作れるようになります。

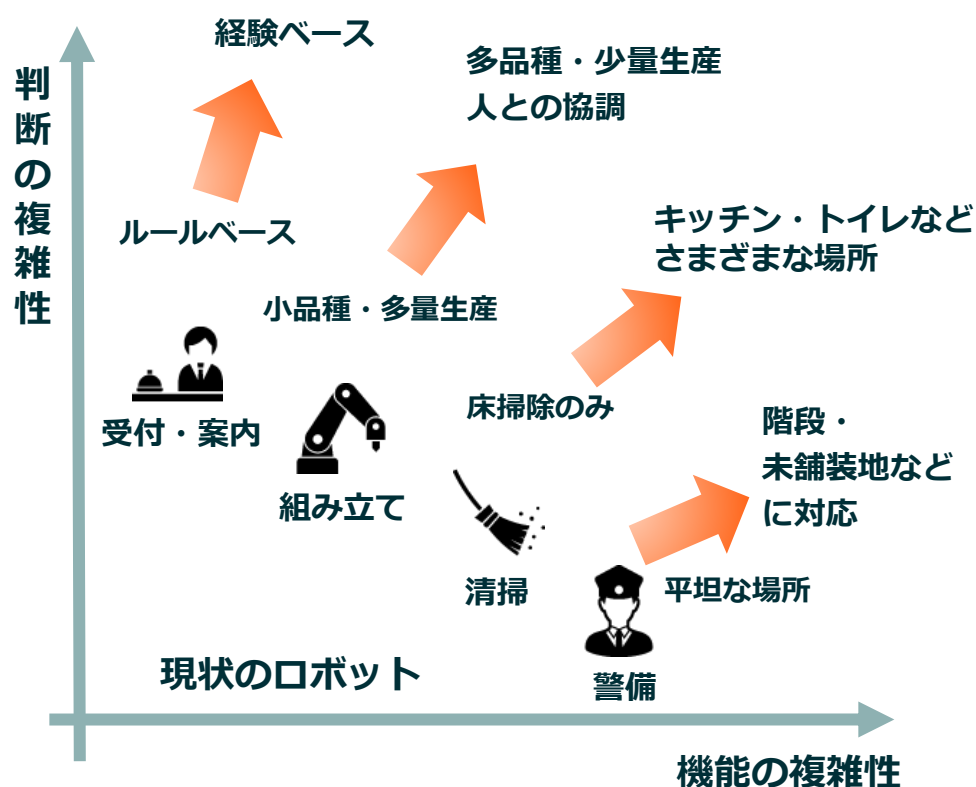
また、現在は掃除ロボットが一般的ですが、将来的にはキッチンで食器を洗う、トイレを掃除するなど、より多機能な家庭用ロボットの実現も期待できます。

高市政権が掲げる17の重点分野にも、AIロボティクス戦略の策定が含まれており、今後ますます注目が高まる分野です。そのため、関連企業の事業拡大も期待されるでしょう。

フィジカルAIのイメージ（工場）



フィジカルAIの進化に伴う今後の変化



※上図はあくまでイメージです。すべてを網羅しているわけではありません。



＜ファンドの目的＞

信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を「Indxx Japan Robotics & AI Index（配当込み）」の変動率に一致させることを目的とします。

＜投資リスク＞

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。**投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「その他」

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

＜ファンドの費用＞

投資者が直接的に負担する費用		
料率等		費用の内容
取得時手数料	販売会社が定めるものとします。	取得時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
交換時手数料	販売会社が定めるものとします。	受益権の交換に関する事務等の対価です。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
料率等		費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	毎日、次のイ. の額に口. の額を加算して得た額 イ. 信託財産の純資産総額に 年率0.649%（税抜0.59%） 以内を乗じて得た額 口. 信託財産に属する有価証券の貸付けにかかる品貸料に55%（税抜50%）以内の率を乗じて得た額	
その他の費用・手数料	● 有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、監査報酬等を信託財産でご負担いただきます。 ※ 売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ● 受益権の上場にかかる費用および対象指数の商標の使用料（商標使用料）ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額を、受益者の負担として信託財産から支払うことができます。 ※提出日現在、商標使用料は信託財産の純資産総額に、年率0.04%以内を乗じて得た額となります。 ※提出日現在、上場にかかる費用は以下となります。 ・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して、最大0.00825%（税抜0.0075%） ・追加上場料：追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のもののからの増加額）に対して、0.00825%（税抜0.0075%）	

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

● 指数の著作権等について

「Indxx」は、Indxxのサービスマークであり、本アドバイザーが特定の目的のために使用するライセンスを付与されています。本ファンドは、Indxxが支援、保証、販売、または宣伝するものではありません。Indxxは、本ファンドの保有者または公衆の構成員に対し、本ファンド全体または特に本ファンドに投資することの妥当性に関して、明示かまたは黙示かを問わず、いかなる表明または保証も行いません。Indxxは、本ファンドのアドバイザーまたは保有者のニーズを考慮して、本インデックスの決定、構成または計算を行う義務を負いません。Indxxは、発行される本ファンドの発行の時期、数量または価格の決定または本ファンドが現金に転換される数式の決定または計算に責任を負わずまた関与していません。Indxxは、本ファンドの管理、マーケティングまたは取引に関連する義務または責任を負いません。

● 当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、Global X Japan株式会社が作成した情報提供資料です。ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETFが上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。株式または金銭の拠出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また、当資料中における運用実績等は参考とする目的で過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。また、当資料の内容についての著作権は、当社その他当該情報の提供元に帰属しています。また、当資料で掲載した画像等はイメージです。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ETFに組入れることを示唆・保証するものではありません。

Global X Japan株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3174号 一般社団法人資産運用業協会会員